

## 滋賀県下水道中期ビジョンについてのアンケート結果

調査時期： 平成 23 年 1 月  
 対象者： 県政モニター 194 人  
 回答数： 140 人（回収率 72.2%）  
 担当課： 下水道課  
 調査目的：

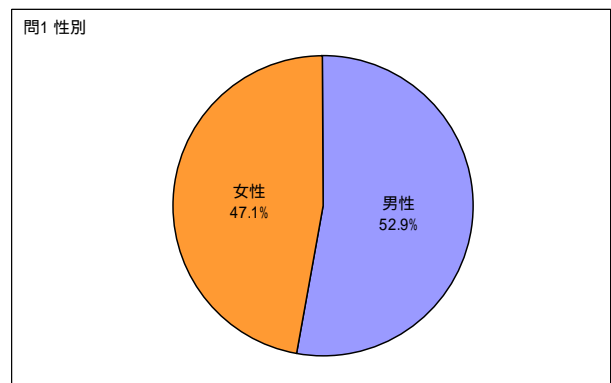
滋賀県では現在、今後 10 年程度の下水道事業の在り方を定めるために、「下水道中期ビジョン」の策定作業中です。現在までの作業により、滋賀県における下水道の将来像を「暮らし」「安全・安心」「環境」「経営管理」「共通」に分けて主な取り組みの実施方針（案）を作成しています。

別添資料-1 は、下水道中期ビジョンにおける主な取り組み実施方針（案）をとりまとめた体系図を示しています。別添資料-1 を参考にいただき、各取り組みの重要度についてご意見をお聞かせ下さい。なお、各取り組みについては、税金や使用料等により実施するものであり、みなさんの負担を伴うものであることを前提にお答えください。

このアンケート結果を踏まえて、体系図に示した各取り組みの実施スケジュールの調整を行う予定です。

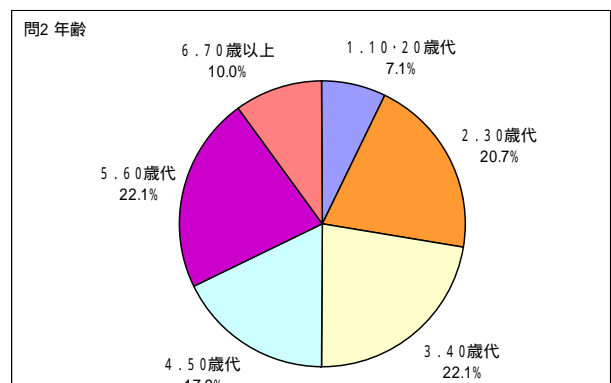
問1 あなたの性別を教えてください。

項目	人数（人）	割合（%）
男性	74	52.9%
女性	66	47.1%
合計	140	100.0%



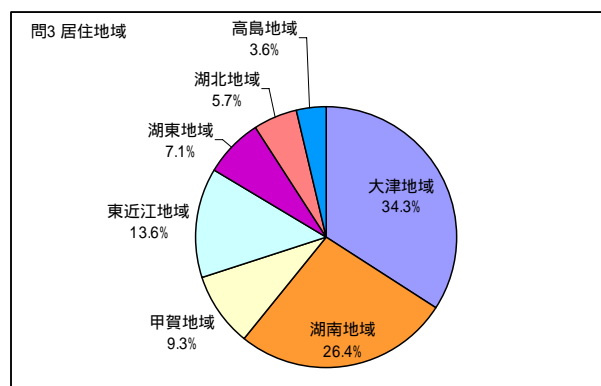
問2 あなたの年齢を教えてください。

項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	10	7.1%
30歳代	29	20.7%
40歳代	31	22.1%
50歳代	25	17.9%
60歳代	31	22.1%
70歳代	14	10.0%
合計	140	100.0%



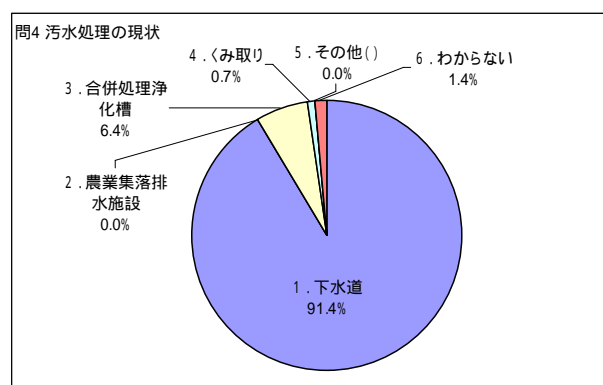
問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	48	34.3%
湖南地域	37	26.4%
甲賀地域	13	9.3%
東近江地域	19	13.6%
湖東地域	10	7.1%
湖北地域	8	5.7%
高島地域	5	3.6%
合計	140	100.0%



問4 あなたの家の污水(トイレ、炊事の排水など)の処理について教えてください。  
(チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 下水道	128	91.4%
2. 農業集落排水施設	0	0.0%
3. 合併処理浄化槽	9	6.4%
4. くみ取り	1	0.7%
5. その他( )	0	0.0%
6. わからない	2	1.4%
合計	140	100.0%



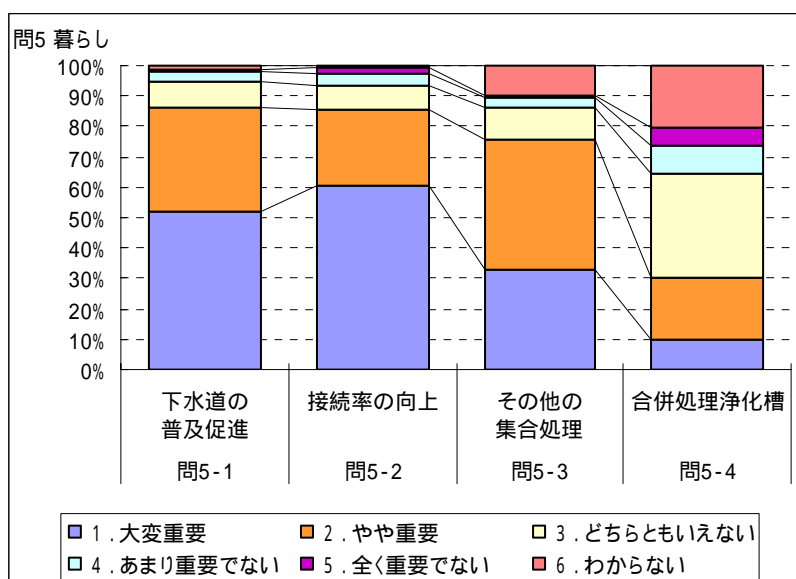
問5 「暮らし」について

以下の各取り組みの重要度をそれぞれ評価してください。

1. 下水道が使用できる人の割合（現状 85.4%）をさらに引き上げる（下水道の普及促進）
2. 下水道が使用できるにもかかわらず下水道に接続していない世帯（現状 10.4%）を減らす（接続率の向上）
3. 農業集落排水施設等の集合処理施設の整備をすすめる。
4. 個々の家庭で合併処理浄化槽を設置する。

（ 大変重要    やや重要    どちらともいえない    あまり重要でない    全く重要でない    わからない）

設問 項目	問 5-1		問 5-2		問 5-3		問 5-4	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 大変重要	73	52.1%	85	60.7%	46	32.9%	14	10.0%
2. やや重要	48	34.3%	35	25.0%	60	42.9%	28	20.0%
3. どちらともいえない	12	8.6%	11	7.9%	15	10.7%	48	34.3%
4. あまり重要でない	4	2.9%	5	3.6%	4	2.9%	13	9.3%
5. 全く重要でない	1	0.7%	3	2.1%	1	0.7%	8	5.7%
6. わからない	2	1.4%	1	0.7%	14	10.0%	29	20.7%
合計	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%



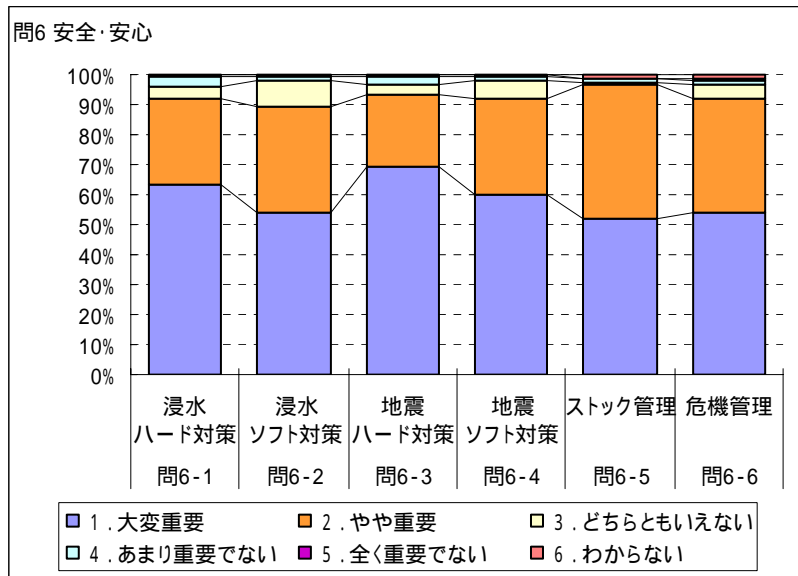
問6 「安全・安心」について

以下の各取り組みの重要度をそれぞれ評価してください。

1. 雨水排水路の整備など浸水対策施設の整備（ハード対策）。
2. 防災訓練や浸水しやすい区域を地図で示す等、洪水に備えた対策の実施（ソフト対策）。
3. 地震がきてもだいじょうぶなように下水道施設を強化する（ハード対策）。
4. 地震被害を受けても対応できるよう復旧手順書の整備や訓練等を実施する（ソフト対策）。
5. 点検や修繕計画をたてるなど施設の老朽化に対応した資産（管渠、ポンプ場、処理場）管理を実施する。
6. 悪質下水の流入等地震や水害以外の様々な危機に対応できるよう危機管理計画を策定するなど平常時、災害時を通じた下水道機能（下水の流下、下水の処理）を維持する。

（ 大変重要    やや重要    どちらともいえない    あまり重要でない    全く重要でない    わからない ）

設問	問 6-1		問 6-2		問 6-3		問 6-4	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 大変重要	89	63.6%	76	54.3%	97	69.3%	84	60.0%
2. やや重要	40	28.6%	49	35.0%	34	24.3%	45	32.1%
3. どちらともいえない	5	3.6%	12	8.6%	4	2.9%	8	5.7%
4. あまり重要でない	5	3.6%	2	1.4%	4	2.9%	2	1.4%
5. 全く重要でない	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%	1	0.7%
6. わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%
設問	問 6-5		問 6-6					
項目	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)				
1. 大変重要	73	52.1%	76	54.3%				
2. やや重要	62	44.3%	53	37.9%				
3. どちらともいえない	1	0.7%	6	4.3%				
4. あまり重要でない	2	1.4%	2	1.4%				
5. 全く重要でない	0	0.0%	1	0.7%				
6. わからない	2	1.4%	2	1.4%				
合計	140	100.0%	140	100.0%				



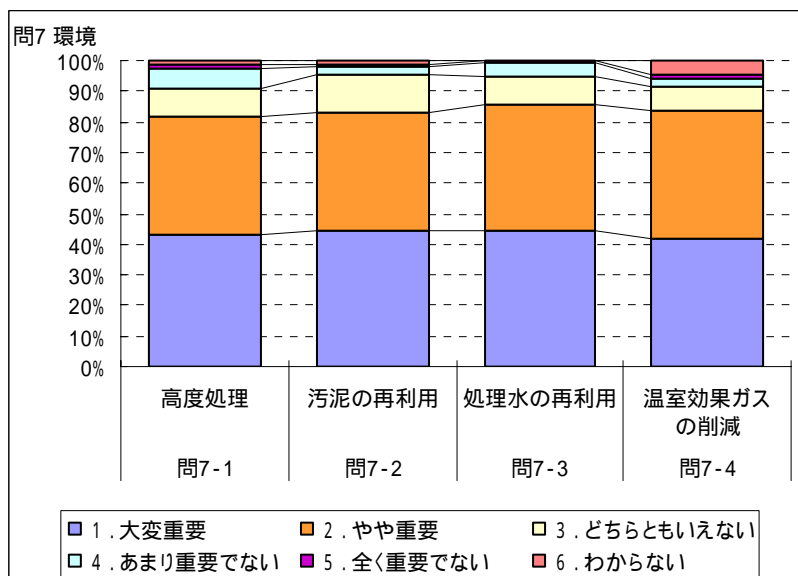
問7 「環境」について

以下の各取り組みの重要度をそれぞれ評価してください。

1. すでに実施している下水の高度処理のレベルをさらに向上させ、水環境の向上へ貢献する。
2. 下水処理で発生する汚泥を建設資材や燃料等の資源として再利用する。
3. 浄化センター用地の公園的利用や処理水の修景用水、農業用水等として利用するなど下水道の資源を有効に利用する。
4. 下水道処理では多くの二酸化炭素が発生しており、これを効率的な施設へ切り替えること等により削減し、地球温暖化対策をすすめる。

( 大変重要 やや重要 どちらともいえない あまり重要でない 全く重要でない わからない )

設問	問 7-1		問 7-2		問 7-3		問 7-4	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 大変重要	60	42.9%	62	44.3%	62	44.3%	59	42.1%
2. やや重要	54	38.6%	54	38.6%	58	41.4%	58	41.4%
3. どちらともいえない	13	9.3%	18	12.9%	13	9.3%	11	7.9%
4. あまり重要でない	9	6.4%	3	2.1%	6	4.3%	4	2.9%
5. 全く重要でない	2	1.4%	1	0.7%	1	0.7%	2	1.4%
6. わからない	2	1.4%	2	1.4%	0	0.0%	6	4.3%
合計	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%



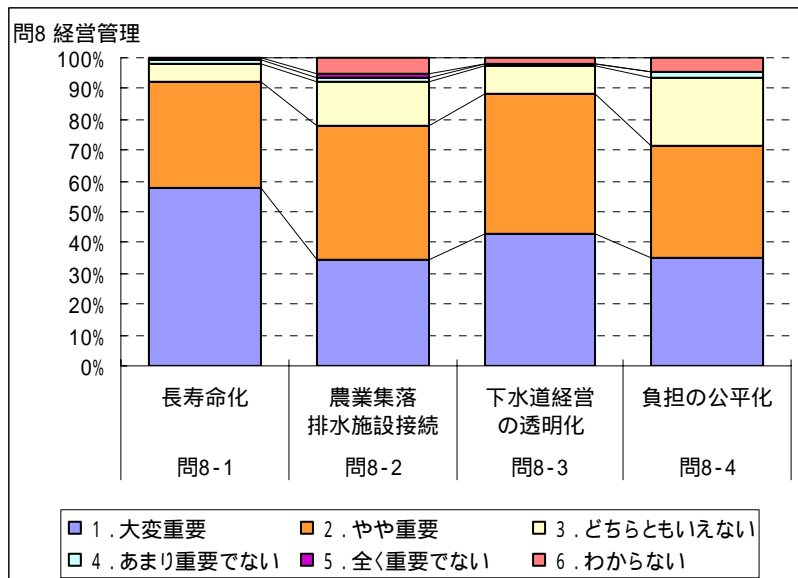
問8 「 経営管理 」について

以下の各取り組みの重要度をそれぞれ評価してください。

1. 増加する下水道の資産（管渠、ポンプ場、処理場）をできるだけ長持ちするよう適切に管理する。
2. 農業集落排水施設を下水道へ接続するなど維持管理を効率化する。
3. わかりやすい経営指標の設定等による下水道経営の透明化や下水道の経営状況を適切に評価するなど下水道経営の効率化を図る。
4. 施設の規模や地域の実情によって約 3.6 倍の差がある下水処理費用について、負担の公平性が確保できるよう調整する。

（ 大変重要   やや重要   どちらともいえない   あまり重要でない   全く重要でない   わからない ）

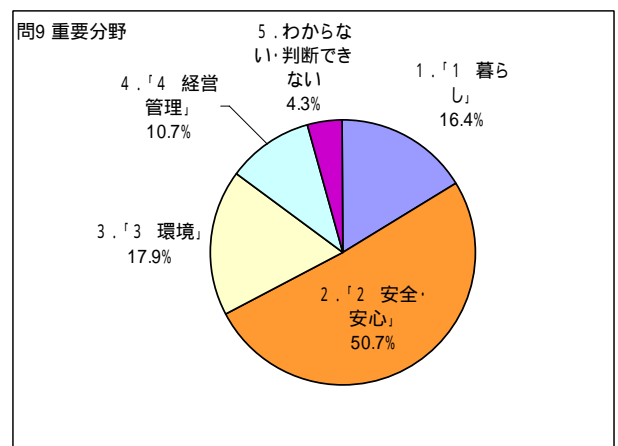
設問	問 8-1		問 8-2		問 8-3		問 8-4	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 大変重要	81	57.9%	48	34.3%	60	42.9%	49	35.0%
2. やや重要	48	34.3%	61	43.6%	64	45.7%	51	36.4%
3. どちらともいえない	8	5.7%	20	14.3%	12	8.6%	31	22.1%
4. あまり重要でない	2	1.4%	2	1.4%	1	0.7%	3	2.1%
5. 全く重要でない	1	0.7%	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%
6. わからない	0	0.0%	7	5.0%	3	2.1%	6	4.3%
合計	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%	140	100.0%



問9 以下の下水道が取り組むべき分野の中で、最も重要と考えられるものを一つだけ選んでください。

1. 「暮らし」
2. 「安全・安心」
3. 「環境」
4. 「経営管理」
5. わからない・判断できない

項目	人数(人)	割合(%)
「暮らし」	23	16.4%
「安全・安心」	71	50.7%
「環境」	25	17.9%
「経営管理」	15	10.7%
わからない・判断できない	6	4.3%
合計	140	100.0%



問 10 資料-1 に示した滋賀県下水道中期ビジョン全体についてのご意見をご自由に入してください。(20件抜粋)

- ・ 下水道事業は上水道事業と同じく大変重要です。また、下水処理で発生したガス及び汚泥等の有効利用を考える事は必要です
- ・ 現在、都市部に居住しており、下水道整備の恩恵はかなり受けています。昨今の経済状況から、県および各市町村の予算も厳しいと思います。  
その中で、今後5年、10年と計画がなされており、内容は素晴らしいと思いますが、計画通りに進むのかが心配です。都市部と高齢化地域との格差が益々拡大しそうですね。
- ・ 地域格差をなくすことや、特に、災害時にそなえて、安全・安心に下水が保てるような、整備事業をよろしくお願いします。
- ・ 資料にある長期ビジョンの詳細は玄人ではないのでよく理解できないところもありますが、その中にもある普及率は全国で高いレベルにあるとなっていますが、県全体ではそう高くない印象を受けます。琵琶湖の汚染や富栄養化は下水を通さない生活排水や農業・工業排水に原因があると言われますし、私もそう思います。県民全体でそれらを減らすことは琵琶湖の汚染、ひいては関西の多くの都市の水を護るためにも重要でそのため今の下水対策を充実する必要を感じます。また、今の下水設備やそこから出る資源の有効活用を行うためにも、近隣の府県の協力を得てしなければならないと思います。ただ、それらの経済活動で地域による下水費用の格差、費用を払わない人がいるなどは論外で公平な費用負担を考えてほしい。また、施設の充実や対策についても、絶対に無駄や不正、不公平のないよう県として真剣に取り組んでほしい。また、県だけでなく滋賀県の市町村や近隣の府県、市町村も琵琶湖の環境や水質を守るための協力を求めて欲しい。
- ・ 下水道事業は水資源管理・琵琶湖の水質改善の面で大変重要な役割をはたしている。しかし、下水道普及率が8割を超えた現在、当初の目的を達成しつつあり、これ以上の普及に関しては、費用対効果を勘案して進めるべきで、必ずしも100%の普及を追求する必要はない。限られた財源は、災害防止のための河川の浚渫、保水能力維持向上のための水田・森林の維持など他の事業に振り当てるべきである。



- ・ 全般的に、この設問は「大変重要」と答えることになる事項がほとんどであり、このアンケートが将来計画の推進の資となるか疑問である。

  - 1 具体的にどの地域の施設をどのように改善するのが不明
  - 2 5年10年後での計画ですが、莫大な予算を要するのに広義の理想ばかりで、絵に書いた餅のように現実味が無い。
  - 3 水を処理することは、その機器には錆びるという宿命がある。設置後10年以上の歳月を経ていることから故障による運用停止を防止するため、機器更新及びメンテナンスの向上が先決と思う。
  - 4 排出される汚泥等の処理ですが、県の直営化とあることは県として一箇所に汚泥を搬入させて焼却等の処理費用の軽減化を図ることなのか。県としての財布は一つとの考えを持つのか。
  - 5 包括的民間委託とあるが、これは入札による業者選定となると思う。その場合、維持管理業務に対する労働意欲が維持できるのか疑問である。数年程度でその職を失するかもしれないということからモチベーションの向上は無い。そのような心理状態から、メンテナンス等に手抜きが発生しないだろうか。入札制度は時代の趨勢かもしれないが、このような事業に対しては不向きである。
  
- ・ 同じ滋賀県に住んでいるので、市町村で料金が異なるのは不公平きわまりないと思います。

市町村で異なるのがやむを得ないのであれば、もっと情報をオープンにしていきたいと思います。
  
- ・ 費用対効果の測定は難しいと思いますがそれがあ程度明示されないと住人が自己負担額の妥当性など行政施策の優先順位の判断がつきにくいのではないかと思います。
  
- ・ 費用と効果の見極めができていないのか。

建前理想が優先しすぎていないのか。厳しい予算財政的に可能なのか。

ビジョンとして考え方は理想すぎないのか。

  - 1 下水道に関しては、生活の中で非常に重要な事項であるが、その重要性の認識が薄いのではないのでしょうか。もっと広報・啓発・教育活動に力を入れていただきたい。(誰にも解りやすいように、県民の目線で)
  - 2 暮らし、安全・安心、環境など小中学校の授業に取り入れ子どもから重要性を教育してほしい。
  - 3 下水道未接続世帯の段階的解消は難しい問題があるが、是非衆知を集めて実現してほしい。

- ・ 滋賀県は、全国の下水道普及率より進んでいるのには驚いた。5年10年と普及率が上がり、100%になる様になれば、県民すべて安全・安心の生活が確保されると思う。着実に普及を進めていただきたい。琵琶湖に流れ出す水も綺麗になり、環境にも良い。
- ・ 下水道使用料は定額にして、県下一律にした方が良いのでは。
- ・ 下水道が取り組むべきいろいろな分野の多さにはじめて気が付きました。自分の知らないこと、考えが及ばなかったことの多さにちょっとショックを受けました。滋賀県の県民の一人として、暮らしに関わる問題をもっと考えていきたいと思いました。
- ・ 下水道がほとんどの場所に通るようになったことはよいことだと思うが、新しく下水道を家に引き込むために高額な費用負担がかかることは(新しい住宅外などでは最初からひかれているので支障はないが)お年寄りなどには大変なことだと思うので、金銭的な補助も必要になってくると思う。
- ・ 素晴らしいプランであるが、投資予算の確保が課題と思う。その中でも、維持管理・メンテナンスに注力してほしい。県民の生活レベル・環境レベルや琵琶湖再生等にとって下水道整備は欠かせない事業と思っています。道路事業より優先させてほしい事業と思っています。
- ・ 1)現状と課題が同じフレーム内に記載されており、どこが問題か判りにくい。課題に対してどのようにしていくかを関連つけて記載してください。
- 2)文章が多く判りにくい  
推進や促進という言葉が多い。この言葉は、耳さわりはいいのですがむしろ実行という言葉の方が判り易い。
- 3)ビジョンであっても予算が入っていないのは判断がしづらい。質問の回答をするにしても cost performance が重要ですので正しい回答が出来ない。全て実施するのにこしたことはありませんが、県の財政も悪い中、予算の無いビジョンは論外です。
- 4)5年後10年後に関しても可能な限りデジタル化しておかないと結果の検証が出来ない。

- ・ 近年、洪水などの災害が各地で起きているのを目にすると、自分が住んでいる地域は大丈夫だろうかという不安を感じます。まずは災害への備えを重点的に行ってほしいです。環境対策については、必要だとは思いますが、よく検討してからでなくではいけないのではないのでしょうか。汚泥の燃料への利用や、効率的な施設への切り替えは、それによってかえってコストや環境への負荷がかかってしまう可能性もあるのではないかと思います。
- ・ 下水道普及率の向上が最大の目標のように思われます。  
しかしながら、農村部など住宅密集の少ない地域ではコストが掛かり過ぎるように思います。下水道が良いのか合併処理浄化槽が良いのかトータルコストで判断すべきだと思います。また、農業集落排水設備を下水道に接続することも地震やその他の災害時に問題が起きればすべての家庭に影響が出ると思います。  
インターネットと同じように一部の問題がシステム全体に影響することがないように十分注意してほしいものです。
- ・ 集約型の下水よりも、地域ごとで処理をするタイプのほうが維持管理を含め合理的にできるのではないのか。  
今後の少子化を考えるとあまり大掛かりな施設は、今後は困難と考えます。